

公立大学法人宮崎公立大学の
令和4年度業務実績 及び 第3期中期目標の期間の終了時に
見込まれる業務実績に関する評価結果

令和5年8月

宮崎市公立大学法人評価委員会

目 次

第1節	評価方法	…	1
第2節	全体評価	…	5
1	令和4年度業務実績	…	5
2	第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績	…	8
第3節	項目別評価	…	12
1	令和4年度業務実績	…	12
(1)	教育に関する目標	…	12
(2)	研究に関する目標	…	14
(3)	地域貢献に関する目標	…	15
(4)	国際化に関する目標	…	16
(5)	業務運営の改善及び効率化に関する目標	…	17
(6)	財務内容の改善に関する目標	…	19
(7)	自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	…	21
(8)	大学改革に関する目標	…	22
2	第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績	…	23
(1)	教育に関する目標	…	23
(2)	研究に関する目標	…	25
(3)	地域貢献に関する目標	…	26
(4)	国際化に関する目標	…	27
(5)	業務運営の改善及び効率化に関する目標	…	28
(6)	財務内容の改善に関する目標	…	30
(7)	自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	…	31
(8)	大学改革に関する目標	…	32

第1節 評価方法

○ 基本的な考え方

「項目別評価」及び「全体評価」により構成する。宮崎市公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、公立大学法人宮崎公立大学（以下「公立大学法人」という。）の作成した実績報告書をもとに、公立大学法人の意見を聴取しながら評価を行う。

なお、教育研究については、その成果が現れるまでには一定の期間を要することから、年度計画の評価は事業の進捗状況の確認等により行う。

また、中期目標期間の評価は認証評価機関による評価を踏まえたものとする。

○ 項目別評価の方法

（評価委員会による評価）

年度計画・中期計画の個別記載事項ごとの実績を、以下の5段階の達成度と、3段階の難易度・重要度から算出する。

なお、個別記載事項に複数の取組や事業（定量的指標を含む）が位置付けられている場合は、取組や事業ごとに評価を行い、平均値を当該個別記載事項ごとの達成度とする。

達成度（事業年度）	判断の目安
V 年度計画を予定よりはるかに上回って実施している	・年度計画における所期の目標を上回る顕著な実績や特に優れた成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の120%以上
IV 年度計画を予定より上回って実施している	・年度計画における所期の目標を上回る実績や成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の110%以上120%未満
III 年度計画を予定どおり実施している【標準】	・年度計画における所期の目標を達成している ・定量的指標においては達成度が目標値の90%以上110%未満
II 年度計画の実施状況が予定を下回っている	・年度計画における所期の目標を下回っており、改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%以上90%未満
I 年度計画の実施状況が予定を著しく下回っている	・年度計画における所期の目標を下回っており、抜本的な改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%未満

達成度（中期目標期間）	判断の目安
V 中期計画を予定よりはるかに上回って実施する見込み	・中期計画における所期の目標を上回る顕著な実績や特に優れた成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の120%以上
IV 中期計画を予定より上回って実施する見込み	・中期計画における所期の目標を上回る実績や成果が得られている ・定量的指標においては達成度が目標値の110%以上120%未満

達成度（中期目標期間）	判断の目安
Ⅲ 中期計画を予定どおり実施する見込み【標準】	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画における所期の目標を達成している ・定量的指標においては達成度が目標値の90%以上110%未満
Ⅱ 中期計画の実施状況が予定を下回る見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%以上90%未満
Ⅰ 中期計画の実施状況が予定を著しく下回る見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画における所期の目標を下回っており、抜本的な改善を要する ・定量的指標においては達成度が目標値の60%未満

(評点の算出方法)

達成度	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
難易度・重要度	年度計画／中期計画の実施／達成状況が予定を著しく下回っている／下回る見込み	年度計画／中期計画の実施／達成状況が予定を下回っている／下回る見込み	年度計画／中期計画を予定どおり実施／達成している／達成する見込み【標準】	年度計画／中期計画を予定より上回って実施／達成している／達成する見込み	年度計画／中期計画を予定よりはるかに上回って実施／達成する見込み
D 1	3	3	4	5	5
D 2	2	3	4	4	5
D 3	1	2	3	3	4

(難易度・重要度の考え方と第3期中期計画における設定)

難易度・重要度	定義	第3期中期計画における設定
D 1	設立団体である市の重要施策と関連する取組や国の施策・動向に関連する取組	[6]優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進 [7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上
D 2	公立大学法人並びに大学の業務遂行及び管理運営の改革・改善に資する取組	[3]他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動 [4]地域での体験学習や学外学習活動 [17]地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開 [26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施
D 3	公立大学法人並びに大学の業務遂行に係る一般的な取組	上記以外

(評価委員会における検証・評価)

公立大学法人から提出された実績報告書について、中期目標に掲げる8つの大項目ごとに、自己評価や計画設定の妥当性を検証し、以下の5段階により、その進捗状況を評価する。

なお、特筆すべき点や遅れている点については、取組の概要を記述する。

中期目標に掲げる8つの大項目

- ①教育に関する目標
- ②研究に関する目標
- ③地域貢献に関する目標
- ④国際化に関する目標
- ⑤業務運営の改善及び効率化に関する目標
- ⑥財務内容の改善に関する目標
- ⑦自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標
- ⑧大学改革に関する目標

(評価基準)

評価（事業年度）	評価（中期目標期間）	判断の目安
S 中期計画の進捗は優れて順調	S 中期目標を十二分に達成する見込み	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が4.3以上であり、かつ、顕著な実績や特に優れた成果があると評価委員会が認める場合
A 中期計画の進捗は順調	A 中期目標を十分に達成する見込み	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下であり、かつ、評価委員会が「A」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が3.5以上4.2以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「A」評価相当と認める場合
B 中期計画の進捗は概ね順調【標準】	B 中期目標を概ね達成する見込み【標準】	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下であり、かつ、評価委員会が「B」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が2.7以上3.4以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「B」評価相当と認める場合
C 中期計画の進捗はやや遅れている	C 中期目標はやや未達成の見込み	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下であり、かつ、評価委員会が「C」評価と認める場合 ・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.9以上2.6以下に満たないが、取組内容や実績、成果等を総合的に勘案して評価委員会が「C」評価相当と認める場合
D 中期計画の進捗は著しく遅れている	D 中期目標は未達成の見込み	・「個別記載事項ごと」の評点の平均値が1.8以下である場合

○ 全体評価の方法

「項目別評価」の結果を踏まえ、公立大学法人の業務全体の実績評価について、記述式により、年度計画や中期目標、中期計画を総括する。

また、地域の高等教育機関として更に発展するために、大学の特色ある取組やさまざま

まな工夫について積極的に評価し、広く公表するとともに、必要に応じて組織や業務の課題や改善点等も記述する。

○ その他

令和5年度については、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第1項第1号に基づく評価（暫定評価）とともに、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和5年法律第58号）附則第3条第3項の規定に基づき、第3期中期目標の期間（平成31年4月1日から令和7年3月31日まで）の事業年度である令和4年度の評価を実施する。

第2節 全体評価

1 令和4年度業務実績

公立大学法人は、平成19年度の地方独立行政法人化以降、主体的・自立的な大学運営に努めており、第3期中期目標の期間（平成31年4月1日から令和7年3月31日まで）の4年目となる令和4年度は、目標達成に向けて52項目の計画が実施された。

評価委員会においては、公立大学法人が作成した業務実績報告書をもとに、公立大学法人の意見を聴取し、各計画の業務実績について評価を行った結果、後述のとおり、第3期中期目標に掲げる8つの項目中、1つの項目で中期計画の進捗は順調、7つの項目で中期計画の進捗は概ね順調であると判断した。

このことから、令和4年度の業務実績については、第3期中期目標・中期計画の達成に向けて、全体として概ね順調に進捗していると評価する。

なお、以下のとおり、令和4年度の業務実績のうち、特色や工夫ある取組を確認したところであり、今後も地域の高等教育機関として更なる発展に取り組まれない。

・令和4年度計画〈6〉実施事項（ア）

優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進のための、高等学校及び受験者に対する新入学者選抜に基づいた入試制度の周知・広報については、進学ガイダンスを実施するとともに、春・秋季に県内全ての高等学校を訪問し、入試制度の定着に努められた。コロナ禍のなか、このような工夫ある取組は評価できる。

・令和4年度計画〈8〉実施事項（ア）

優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進のための、県内高等学校の訪問による広報活動の実施については、春・秋季に県内全ての高等学校を訪問することで、県内高等学校との信頼関係構築及び県内出身者の入学促進に努められた。コロナ禍のなか、このような特色ある取組は評価できる。

・令和4年度計画〈9〉実施事項（イ）

就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上のための、県内企業の魅力を伝えるセミナー等の実施については、対面とオンラインを併用しながら、県内企業の説明会やセミナーを学内で開催し、県内企業への就職希望者と県内企業との接点を増やす取組を実施するとともに、就職活動を行っている学生に対し、「採用継続中の県内企業リスト」を配布し、県内企業の周知に努められた。

・令和4年度〈10〉実施事項（ア）

就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上のための、教育的効果の高いインターンシップの企画・運営については、国の指針に基づき長期実践型プログラムを構築し、

県内企業7社と連携しながらプログラムを実施する等、学生のキャリア形成を積極的に支援する姿勢がうかがえた。

このような積極的かつ工夫ある取組は評価できる。

・令和4年度計画〈22〉実施事項（イ）

地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進のための、新たな講座開設の検討については、地域の企業等のニーズを的確に把握したうえで、新たに「サービス業従事者のための接客韓国語講座（仮称）」の開設を判断し、次年度の開講に向け必要な対応が実施されていた。

このような積極的かつ工夫ある取組は評価できる。

・令和4年度計画〈24〉実施事項（イ）

留学生の受入れプログラムの充実のための、留学生との交流機会を創出するオンラインイベントの開催については、学生主体となった運営のもと実施され、本プログラムをきっかけとした個人交流も始まる等、学生の主体的な姿がうかがえた。

コロナ禍のなか、このような工夫ある取組は評価できる。

・令和4年度計画〈25〉実施事項（イ）

地域社会における国際交流活動の推進のための、学生及び留学生と、学外団体や地域住民との交流機会の創出については、オンライン形式によるホストファミリーとの交流会を開催され、交換留学生受入れ開始後は、国際交流や国際理解に繋がる取組が実施されていた。

コロナ禍のなか、ホストファミリーと連携し、国際交流機会を確保する取組を工夫し実施したことは評価できる。

・令和4年度計画〈40〉実施事項（イ）

安定的な志願者及び入学者の確保のための、オープンキャンパス等のイベントの実施については、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じたうえで対面により実施され、参加者の満足度が目標の80%を超える結果を得るとともに、来年度に向けたフィードバックも行われていた。

このような特色ある取組や次年度に向けた姿勢は、評価できる。

・令和4年度計画〈45〉実施事項（ア）

研究活動における外部資金の獲得のための、科学研究費助成事業をはじめとする各研究助成事業の応募促進については、令和5年度の科学研究費助成事業の応募に対し13件の応募申請が行われる等、応募件数は増加傾向にあることがうかがえた。

このような、工夫ある財源（研究資金）確保の取組は評価できる。

一方、以下のとおり、令和4年度の業務実績のうち、課題等を確認したところであり、今後の取組に十分留意されたい。

・令和4年度計画〈23〉実施事項（ア）

新たな海外協定校の開拓のための、公費派遣留学を実施した学生から提出される報告書や帰国後ヒアリングを基にした、公費派遣留学全体の検証・評価については、検証・評価方法について案が示されたことに留まっており、具体的な検証・評価には至っていない状況が見受けられた。

あわせて、いくつかの実績には、アンケートの回答数や実施事業への参加者数が記載されているが、記載された数値の妥当性について判断が難しいものがあったことから、適正かつ的確な評価の実施という観点からも、数値を補足する具体的な内容の記載に努められたい。

終わりに、令和3年度に引き続き、令和4年度も、1年を通じて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大学運営に苦慮されたものと拝察する。そのような中においても、事業実施にあたり制限が多い中、計画の実行には随所に工夫がみられ、留まることなく業務を遂行しようとする前向きな姿勢が見受けられた。

特に、オンライン等の取組は、今後の活動における選択肢を増やし、活動の幅を広げるものであることから、このような取組を継続しながら事業推進にあたられたい。

2 第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績

公立大学法人は、平成19年度の地方独立行政法人化以降、主体的・自立的な大学運営に努めており、第3期中期目標の期間（平成31年4月1日から令和7年3月31日まで）においては、目標達成に向けた取組として40項目を設定した。

評価委員会においては、公立大学法人が作成した業務実績報告書をもとに、公立大学法人の意見を聴取し、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価も踏まえながら、第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる各項目の業務実績について評価を行った結果、後述のとおり、8つの項目全てで中期目標を概ね達成する見込みであると判断した。

このことから、第3期中期目標の達成に向けて、全体として概ね順調に進捗していると評価する。

なお、以下のとおり、第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績のうち、特色や工夫ある取組を確認したところであり、今後も地域の高等教育機関として更なる発展に取り組まれない。

・第3期中期計画 [1] 実施事項②・③

教養教育における「国際文化学」の体系化のための、カリキュラムマップの作成及びカリキュラムマップに基づいた教養教育の実施については、科目の性質と関連を学年ごとに示したカリキュラムツリーと、各専攻・領域科目の到達目標をレーダーチャートにより表したカリキュラムマップが作成され、分野横断的な学びを分かりやすく可視化することに努められている。

このことは、シラバスの改善等、学生の主体的な学びの環境確保にも寄与しており、評価するとともに、「国際文化学」の体系化によりどのような形で教育の充実化が図られるのか、コンテンツ（知識）・コンピテンシー（資質・能力）双方の視点も織り交ぜながら、目標達成に係る中長期的な検証・評価を期待する。

・第3期中期計画 [4] 実施事項③

地域での体験学習や学外学習活動のための、地域貢献コーディネーターと連携した取組については、年度毎に振り返りを行う等して、改善を重ねながら実施されている。

関係者間の有効な連携のもと、特色ある取組が実施されている点を評価するとともに、地域人材の育成という点において、地域での体験的な学びは非常に重要であることから、今後の履修者の増加を期待する。

・第3期中期計画 [5] 実施事項②

教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上のための、研修会等の取組については、担当者会議や意見交換会等が複数回実施されている。

このような工夫ある取組を通じ、シラバスの改善や、FD（Faculty Development）活動の着実な進捗がうかがえ、評価できる。

・第3期中期計画 [6] 実施事項③

優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進のための、県内高等学校の訪問実施等の取組については、コロナ禍の中でも各校を訪問する等して、信頼関係を構築することに努められているほか、入学者に占める割合も概ね達成している。

このような特色ある取組を評価するとともに、引き続き、地元の高等学校に寄り添った取組を期待する。

・第3期中期計画 [10] 実施事項③

心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援のための、問題点の抽出の改善の実施については、現状を適切に把握し、きめ細やかな学修相談の実施や事業予算の確保に努められている。

このような工夫ある取組を評価するとともに、コロナ禍の影響もあり、相談体制の充実がこれまで以上に求められると考えられることから、今後の取組に期待する。

・第3期中期計画 [10] 実施事項④

心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援のための、学内理解を深めるための外部研修への参加及び学内研修の実施については、研修で得たスキルを日々の支援に活かす等、精力的な学生支援の姿勢がうかがえる。

このような工夫ある取組を評価するとともに、引き続き、必要な取組を行っていただきながら、多様な学生が主体的に学修できる環境の積極的な構築を期待する。

・第3期中期計画 [13] 実施事項①

各種助成事業を活用した研究活動の活性化のための、「学長裁量助成事業」の見直し及び積極的な研究の実施については、「学術研究推進助成事業」として見直され、スケジュールや対象者等も再構築される等、積極的な研究支援に係る取組が行われている。

このような特色ある取組は、評価できる。

・第3期中期計画 [15] 実施事項②

研究成果の地域社会への還元のための、「学術研究推進助成事業」を活用した場の創出については、研究成果発表の場を年度毎に複数回実施されている。

コロナ禍のなか、このような特色ある取組は評価できる。

・第3期中期計画 [17] 実施事項②

地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・教育活動の展開のための、大学と地域とのマッチング・コーディネートの実施については、地域貢献コーディネーターを中心として、様々な取組が実施されている。

このような工夫ある取組を評価するとともに、引き続き、地域のシンクタンクとして、より具体的な地域貢献活動を期待する。

・第3期中期計画 [21] 実施事項①・②

新たな海外協定校の開拓のための、具体的な取組の決定については、学生・保護者か

らの興味・関心が高いオセアニア英語圏の海外協定校との間で既に協定を締結し、公費派遣留学が実施されているほか、アフターコロナを見据えた留学相談会が実施される等、学生の海外派遣・留学の促進に努められている。

このような数値目標を視野に入れた工夫ある取組は、評価できる。

・ **第3期中期計画 [25] 実施事項①**

適切な意思決定と組織及び業務運営の改善のための、学内会議の開催と部会等組織の見直しについては、経営審議会や教育研究審議会等が適切に開催されているほか、新たに、内部質保証推進会議や教学マネジメント委員会が設置され、業務運営の改善に資する工夫ある取組が実施されている。

業務運営の改善・効率化には、理事長・学長のガバナンスやリーダーシップの確保とともに、学内の各部局、教職員の意見・アイデアを活用するための風通しの良い透明性のある組織運営が必要と考えられ、内部質保証推進会議が適宜適切に開催され、有効に機能していることは評価できる。

・ **第3期中期計画 [34] 実施事項②**

産学官等との連携による寄附講座の開設及びその充実については、収入源の多様化を推進するため、複数開設・実施に努められている。

一方、以下のとおり、第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績のうち、課題等を確認したところであり、今後の取組に十分留意されたい。

・ **第3期中期計画 [2] 実施事項③**

外国語によるコミュニケーション能力の育成のための、学習環境の充実を図る各種取組の推進については、語学学習支援をはじめとする授業外での外国語学習の取組が、学生の主体的な学びの実現のために行われている。

引き続き、授業（授業内）との連携を図りながら、外国語コミュニケーション能力の向上を図られたい。

・ **第3期中期計画 [14] 実施事項②**

研究の質の向上と研究環境の整備のための、研究支援策の検討及び具体的な方策の実施については、学術研究の質を高め、研究水準の向上を図り、高いレベルでの知的貢献が可能となるサバティカル制度への変更が検討されている。

サバティカル制度については、優れた研究者（教員）確保のための重要な取組であることから、早期の導入及び目標の明確化に努められたい。

・ **第3期中期計画 [22] 実施事項②**

留学生の受入れプログラムの充実のための、課題の特定及び参考事例を調査した上での改善策の検討については、課題の特定は行われているものの、具体的な成果が現れるには至っていないことから、改善策の効果的な実施に努められたい。

・第3期中期計画 [33] 実施事項③

安定的な志願者及び入学者の確保のための、推薦入試枠の見直しについては、内容の具体的な見直し及び制度変更等が行われているが、志願状況だけではなく、制度変更による入学者の質の変化についても検証が必要と考えられ、実態の具体的な把握に努められたい。

終わりに、第3期中期目標の期間も4年が経過し、いよいよ仕上げの時期に入る。公立大学法人においては、現在の第3期中期計画の進行状況を再確認していただくとともに、残り2年間も、第3期中期目標の実現に向けた取組を、教職員一丸となって実施されたい。

あわせて、18歳人口の減少等、社会情勢が急速に変化するなか、大学が果たすべき役割や方向性についても、様々な角度から検討いただき、開学30周年を機に、大学の価値が益々向上していくことを期待する。

第3節 項目別評価

1 令和4年度業務実績

<評価結果の概要>

	S	A	B	C	D
(1) 教育に関する目標		○			
(2) 研究に関する目標			○		
(3) 地域貢献に関する目標			○		
(4) 国際化に関する目標			○		
(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
(6) 財務内容の改善に関する目標			○		
(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標			○		
(8) 大学改革に関する目標			○		

(1) 教育に関する目標

評価	判断理由
A 中期計画の進捗は順調	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が3.5以上4.2以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[1] 教養教育における「国際文化学」の体系化	〈1〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[2] 外国語によるコミュニケーション能力の育成	〈2〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈2〉イ	Ⅲ			
[3] 他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動	〈3〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[4] 地域での体験学習や学外学習活動	〈4〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈4〉イ	Ⅲ			
[5] 教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上	〈5〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈5〉イ	Ⅲ			
[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	〈6〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈7〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈8〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
[7] 就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上	〈9〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	〈9〉イ	Ⅲ			
	〈10〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 1	5
[8] 教職に関する学生の資質向上	〈11〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈11〉イ	Ⅱ			

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[9] 教職関連の就職を目指す学生の就職支援	<12>ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	<12>イ	Ⅲ			
	<12>ウ	Ⅲ			
[10] 心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援	<13>ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	<13>イ	Ⅲ			
[11] 経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型奨学金」への対応	<14>ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	<14>イ	Ⅲ			
[12] 個々の学生に対応した履修相談や学習相談	<15>ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	<15>イ	Ⅲ			
合計					53
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.5

(特筆すべき点)

[7] 地域での体験学習や学外学習活動

<10> 教育的効果の高いインターンシップの企画・運営

(ア) 教育的効果の高いインターンシップの企画・運営として、県内企業7社と連携し、22名の学生が長期実践型プログラムに取り組んだほか、長期実践プログラムと同等の教育的効果が見込める外部プログラムに3名の学生が参加している。また、プログラム終了後は、成果発表会や次年度へのフィードバックを実施している。

(遅れている点)

[8] 教職に関する学生の資質向上

<11> 学校体験活動の教職課程科目開設に係る実現可能な方策の再検討及び文部科学省への開設申請手続に向けての調整・準備の実施

(イ) 文部科学省への開設申請手続のための調査・準備として、学校等との調整を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により学校との受入れ調整が難航したため、具体的な申請手続に至っておらず、令和6年度開設に係る調整・準備の実施に留まっている。

(2) 研究に関する目標

評価	判断理由
<p>B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】</p>	<p>「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。</p>

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[13]各種助成事業を活用した研究活動の活性化	〈16〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[14]研究の質の向上と研究環境の整備	〈17〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈17〉イ	Ⅲ			
[15]研究成果の地域社会への還元	〈18〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈19〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					12
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(3) 地域貢献に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[16] 地域貢献に関する基本方針の見直し ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・ 教育活動の展開	〈20〉ア	III	III	D 2	4
	〈20〉イ	III			
[18] ニーズに即した生涯学習事業の推進	〈21〉ア	III	III	D 3	3
	〈21〉イ	III			
[19] 地域の多様な学習ニーズに対応した リカレント教育の推進	〈22〉ア	III	IV	D 3	3
	〈22〉イ	IV			
合計					10
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.3

(特筆すべき点)

[19] 地域の多様な学習ニーズに対応したリカレント教育の推進

〈22〉リカレント教育プログラム「ホテル接客英語講座」の実施及び新たな講座開設について検討

(イ) 令和5年度実施に向けた新たな講座開設に係る検討として、県内ホテル等からニーズを把握した後、地域貢献部会における検討のもと、「サービス業従事者のための接客韓国語講座 (仮称)」開設のための具体的な準備を進めている。

(遅れている点)

・特になし

(4) 国際化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[20] 国際交流に関する基本方針の見直し ※ 令和元年度をもって終了	—	—	—	D 3	—
[21] 新たな海外協定校の開拓	〈23〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[22] 留学生の受入れプログラムの充実	〈24〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈24〉イ	Ⅲ			
[23] 地域社会における国際交流活動の推進	〈25〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈25〉イ	Ⅲ			
[24] 市内の小・中学校等の教育機関と連携した 教育研究活動	〈26〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈26〉イ	Ⅲ			
合計					12
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

- ・特になし

(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[25]適切な意思決定と組織及び業務運営の改善	〈27〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈27〉イ	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	〈28〉ア	Ⅱ	Ⅱ	D 2	3
	〈29〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈30〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	〈30〉イ	Ⅲ			
	〈31〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
[27]教職員の能力及び資質向上への取組	〈32〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈32〉イ	Ⅲ			
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施	〈33〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈33〉イ	Ⅲ			
	〈34〉ア	Ⅲ			
[29]ハラスメント防止・対策の徹底	〈35〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈35〉イ	Ⅲ			
	〈35〉ウ	Ⅲ			
[30]災害等の有事における危機管理への対応	〈36〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈36〉イ	Ⅱ			
	〈36〉ウ	Ⅲ			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応	〈37〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈37〉イ	Ⅱ			
	〈38〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈38〉イ	Ⅲ			
合計					39
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.3

(特筆すべき点)

- ・特になし

(遅れている点)

[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

〈28〉教育・研究・地域貢献・大学運営等に関する業績の適正評価のための、教員評価制度の検討

(ア) 教員評価（案）の検討等については、地方都市大学懇話会における意見交換を踏まえた検討が行われてはいるが、導入・実施には至っていない。

[30]災害等の有事における危機管理への対応

〈36〉災害等の有事を想定した避難訓練の実施及び訓練の検証を通じた防災マニュアルの見直しの実施・周知並びに学生及び教職員を対象にした救命講習等の実施

(イ) 訓練の検証を通じた防災マニュアルの見直しの実施・周知については、訓練を実施しているものの、防災マニュアルの見直しには至っていない。

[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応

〈37〉情報セキュリティに関する最新事例を踏まえた啓発や、インシデント対応力の向上を図るための教職員及び新入生向けの情報セキュリティ研修会の実施

(イ) 教職員向けの情報セキュリティ研修会の検討・実施については、情報システム検討会議における検討等が行われているが、研修会の実施には至っていない。

(6) 財務内容の改善に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[32]経費の削減及び効果的な予算編成	〈39〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈39〉イ	Ⅲ			
	〈39〉ア	Ⅲ			
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	〈40〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈40〉イ	Ⅲ			
	〈41〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈41〉イ	Ⅲ			
	〈41〉ウ	Ⅲ			
	〈42〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈43〉ア	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
〈43〉イ	Ⅲ				
[34]産学官等との連携による寄附講座の開設	〈44〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[35]研究活動における外部資金の獲得	〈45〉ア	V	Ⅳ	D 3	3
	〈45〉イ	Ⅲ			
[36]長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用	〈46〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈46〉イ	Ⅲ			
	〈46〉ウ	Ⅲ			
[37]計画的な情報システムの整備と有効活用	〈47〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈47〉イ	Ⅲ			
	〈47〉ウ	Ⅲ			
合計					27
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

[33]安定的な志願者及び入学者の確保

〈43〉高校生等のニーズに合った広報ツールによる情報発信及び大学案内等既存ツールの内容等の見直しの実施

(ア)「広報に関する専門委員会」及び企画係とも連携した、効果的な本学の魅力発信及び必要に応じた入試広報ツールの見直しの実施については、入試広報用に特化したウェブサイトの運用を開始するとともに、入試広報用動画の作成やオリジナルグッズの見直し等が

行われている。

[35]研究活動における外部資金の獲得

〈45〉研究活動における外部資金の獲得に向けた公募情報や採択事例の積極的な周知及び科学研究費助成事業をはじめとする各研究助成事業の応募の促進並びにこれまで採択された教員を中心とした応募支援による科学研究費助成事業の応募しやすい環境の設定

(ア) 科学研究費の積極的な応募については、目標値を上回る数の応募が行われ、若手研究に採択される等の実績を得ている。

(遅れている点)

特になし

(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

評価	判断理由
<p>B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】</p>	<p>「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。</p>

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[38]法人評価と認証評価を通じた改善活動	〈48〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈48〉イ	Ⅲ			
	〈49〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[39]適切な情報公開と認知度向上に向けた 広報活動の展開	〈50〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈51〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	〈51〉イ	Ⅲ			
	〈51〉ウ	Ⅲ			
合計					12
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

特になし

(遅れている点)

特になし

(8) 大学改革に関する目標

評価	判断理由
<p>B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】</p>	<p>「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。</p>

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[40]時代の変化に対応した教育改革	〈52〉ア	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					3
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

特になし

(遅れている点)

特になし

2 第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績

<評価結果の概要>

	S	A	B	C	D
(1) 教育に関する目標			○		
(2) 研究に関する目標			○		
(3) 地域貢献に関する目標			○		
(4) 国際化に関する目標			○		
(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標			○		
(6) 財務内容の改善に関する目標			○		
(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標			○		
(8) 大学改革に関する目標			○		

(1) 教育に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[1] 教養教育における「国際文化学」の体系化	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
[2] 外国語によるコミュニケーション能力の育成	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
[3] 他機関から講師等を招いて実施する授業や学習活動	①	III	III	D 2	4
	②	III			
	③	III			
[4] 地域での体験学習や学外学習活動	①	III	III	D 2	4
	②	III			
	③	III			
[5] 教員の教育能力の向上と教育の質の改善・向上	①	III	III	D 3	3
	②	III			
[6] 優秀な学生の確保と県内出身者の入学促進	①	III	III	D 1	4
	②	III			
	③	III			
	④	—			

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[7]就職・キャリア支援と県内企業の認知度向上	①	Ⅲ	Ⅲ	D 1	4
	②	Ⅲ			
[8]教職に関する学生の資質向上	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
[9]教職関連の就職を目指す学生の就職支援	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅲ			
[10]心身の健康に係る支援や障がいのある学生への支援	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅲ			
[11]経済的支援の充実及び「授業料減免及び給付型 奨学金」への対応	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
[12]個々の学生に対応した履修相談や学習相談	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
合計					40
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

(特筆すべき点)

特になし

(遅れている点)

特になし

(2) 研究に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[13]各種助成事業を活用した研究活動の活性化	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[14]研究の質の向上と研究環境の整備	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[15]研究成果の地域社会への還元	①	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	②	Ⅲ			
合計					9
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

[15]研究成果の地域社会への還元

- ①教員の研究成果について、ウェブサイト等を活用してその成果を学内外に発信することについては、目標値を上回る数の発信が、学内外に対し行われている。

(遅れている点)

特になし

(3) 地域貢献に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[16] 地域貢献に関する基本方針の見直し	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[17] 地域の政策課題・産業界のニーズに即した研究・ 教育活動の展開	①	Ⅲ	Ⅲ	D 2	4
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅲ			
[18] ニーズに即した生涯学習事業の推進	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[19] 地域の多様な学習ニーズに対応した リカレント教育の推進	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅲ			
合計					13
項目別の評点平均値（合計値÷個別記載事項の数）					3.3

(特筆すべき点)

特になし

(遅れている点)

特になし

(4) 国際化に関する目標

評価	判断理由
<p>B 中期計画を概ね達成する 【標準】</p>	<p>「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。</p>

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[20] 国際交流に関する基本方針の見直し	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[21] 新たな海外協定校の開拓	①	Ⅳ	Ⅳ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[22] 留学生の受入れプログラムの充実	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[23] 地域社会における国際交流活動の推進	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[24] 市内の小・中学校等の教育機関と連携した 教育研究活動	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
合計					15
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

[21] 新たな海外協定校の開拓

- ① 新たな海外協定校を開拓するための具体的な取組内容（国、交流条件、交渉方法等）の決定については、学生・保護者からの興味・関心が高いオセアニア英語圏の海外協定校と令和3年度に協定を締結し、令和4年度には公費派遣留学を実施している。

(遅れている点)

特になし

(5) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[25]適切な意思決定と組織及び業務運営の改善	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施	①	Ⅱ	Ⅲ	D 2	4
	②	Ⅳ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅳ			
[27]教職員の能力及び資質向上への取組	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[28]法令遵守の徹底による適切な大学運営の実施	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
[29]ハラスメント防止・対策の徹底	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅲ			
[30]災害等の有事における危機管理への対応	①	Ⅱ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[31]個人情報をはじめとする情報管理への対応	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
合計					22
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.1

(特筆すべき点)

[26]優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

②事務職員の人事評価の適正な実施及びその活用策の検討については、令和3年度から前倒しで作業を実施し、大学独自の人事評価制度実施要領を策定した後、令和4年4月から運用を開始している。

④多様な教育研究分野やバックグラウンドを有する優れた人材の確保・登用については、客員教授制度や特任教員制度等を導入・実施等が行われている。

(遅れている点)

[26] 優秀で多様な教職員の確保と評価制度の導入・実施

- ① 教員評価制度を導入及びその活用策の検討については、具体的な作業を実施しているものの、制度の導入には至っていない。

[30] 災害等の有事における危機管理への対応

- ① 防災マニュアルの点検、見直し及び学内周知については、避難訓練等は実施しているものの、防災マニュアルの点検・見直しには至っていない。

(6) 財務内容の改善に関する目標

評価	判断理由
<p>B 中期計画を概ね達成する 【標準】</p>	<p>「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。</p>

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[32]経費の削減及び効果的な予算編成	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
[33]安定的な志願者及び入学者の確保	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
	④	Ⅳ			
[34]産学官等との連携による寄附講座の開設	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[35]研究活動における外部資金の獲得	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
[36]長寿命化計画に基づく施設設備の整備と有効活用	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
[37]計画的な情報システムの整備と有効活用	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
合計					18
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

[33]安定的な志願者及び入学者の確保

- ④大学案内等入試広報ツールの見直しについては、大学案内の見直しや、ターゲットを考慮したメディアでの広報及び受験生サイトの制作等が行われている。

(遅れている点)

特になし

(7) 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が2.7以上3.4以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[38] 法人評価と認証評価を通じた改善活動	①	III	III	D 3	3
	②	III			
	③	III			
	④	III			
	⑤	III			
[39] 適切な情報公開と認知度向上に向けた 広報活動の展開	①	III	III	D 3	3
	②	III			
合計					6
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

特になし

(遅れている点)

特になし

(8) 大学改革に関する目標

評価	判断理由
B 中期計画を概ね達成する 【標準】	「個別記載事項ごと」の評価の最終評点の平均値が 2.7 以上 3.4 以下であること等を総合的に勘案したことによる。

個別記載事項 ※括弧書きは業務実績報告書の頁番号	計画 番号	達成度		難易度 重要度	評点
		個別	全体		
[40]時代の変化に対応した教育改革	①	Ⅲ	Ⅲ	D 3	3
	②	Ⅲ			
	③	Ⅲ			
合計					3
項目別の評点平均値 (合計値÷個別記載事項の数)					3.0

(特筆すべき点)

特になし

(遅れている点)

特になし